

市政ニュース

昭和47年11月1日 291号
毎月1日・15日発行 一部4円
発行所 五所川原市役所



昭和二十年代
それは食糧増産の時代であった。
米とりんごの里 津軽に明るい陽がさした。
昭和三十年代
それは工業国へ脱皮の時代であった。
村から都市へ雪崩のように人が移り
農山漁村の二、三男対策は無用となった。
昭和四十年代
過疎と過密と公害の時代がやってきた。
しかも米が余るといふ世の中でもある。
しかし米一筋の津軽の農民にとつて
米作りはやはり生き甲斐である。
津軽の斜陽に挑み今日もがんばる。

財団法人 市教育振興会設立

会長に増田桓一氏

「学園都市づくりをすすめている市は、これまでの文教施設の整備と併行して教育の不均衡をなくし、有為な人材を育てるため十月から財団法人「五所川原市教育振興会（増田桓一会長）」を設立しました。

設立された「市教育振興会」は、さる九月三十日、県教育委員会から設立許可を受け、会の当初運用基金として一千万円（市出資金五百万円、有志者寄付金五百万円）で発足しました。

同会は、経済事情によつて就学が困難な①高校生に対し、入学科と授業料の相当額を給与し②大学志望者に対しては、三十万円を限度として入学仕度金を貸与します。

また、資金の捻出が困難である、など特殊な条件下にあつて③文教施設の設備をする場合、整備費を助成する④学術研究、出版刊行などに対して支援金を交付する、の四点を事業の柱にしています。

会には、設立当初の役員として、次の十五人が選任されましたが、任期が切れる四十九年三月三十一日以後は理事（会長、副会長、常任理事を含む）監事あわせ三十人で構成されます。

当市は、地域経済の遅れから生活水準に格差があり、高校進学率も県平均を若干上回っていますが、全国平均をかなり下回っています。

上位等級米80%目標

市産米改良協議会

五所川原市産米改良協議会は、十月二十四日午前十時から産経会館に市内の各農協や、もみずり、集荷業者などの関係団体から三十人ほどが出席して開かれ、協議会の新会長に佐々木市長を選任しました。

協議会では、佐々木市長が新しい委員ひとりひとり委嘱状を交付したあと、産米改善の推進対策として「本年産米の上位等級米（三等米以上）比率の八〇割

公害対策審議会 発足

十月一日施行された「市公害防止条例」に伴う公害対策審議会がこのほど発足し、会長に前田義則氏が決まりました。

対策審議会には市内の学識経験者や関係行政機関、公共団体、企業関係の代表者十五人が市から委嘱されました。

対策審議会では、今後公害対策について、市長の諮問に応じて基本的事項を調査、審議してゆきます。

△会長 前田義則▽副会長 高松功▽委員 対馬昭幸、千田豊、阿保孫市、小野村正巳、村上純一、開米佐太郎、石井征次郎、佐藤貞、神三男、小野仁太郎、斎藤一郎、対馬宇之吉、小笠原幸雄（敬称略）

市政ダイヤル

その日の
行事や予定は

でんわ⑤4321

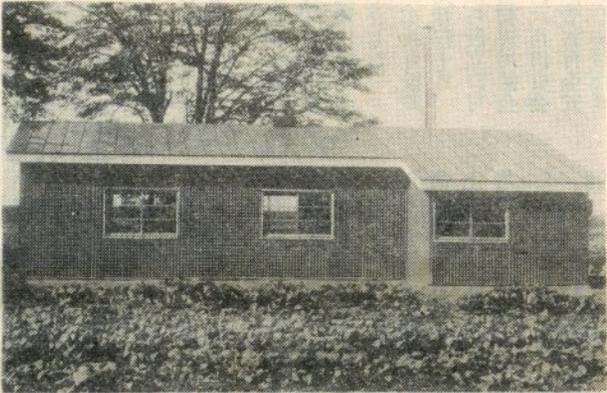
山菜加工場完成

下岩崎ナメコ生産組合

下岩崎ナメコ生産組合(野宮金助組合長、組合員十二人)が、二百七十一万八千円(国、県が六割補助)で建設していた「山菜処理加工場」が完成し、十一月中旬操業します。

完成した加工場には、殺菌パック(六ケース用)、洗浄選別機(六段ロータリー式)、ボイラー(全自動)が施設され、試運転を始めた。加工場の加工工程は、①洗浄(ダイライトタック)した山菜を②選別機にかけて③缶に詰め④殺菌(蒸気)して⑤脱気、さらにフタをして冷却させると完成します。

同生産組合では、すでに昨年十月、ナメコ二千五百箱を収容できる菌舎を完成させており、操業を前にフキ、ワラビおよび千草を漬け、本格的な加工に備えておりました。同生産組合では、ひと缶四百入り、山菜加工製品として、大手卸し売りメーカーと契約し販売する方針ですが、ひと冬に総収入から諸支出を差し引きおよそ二百万円(労賃



完成した「山菜処理加工場」

相殺分を含む)の収益を見込んでおります。

三種混合ワクチン 2回目の接種

百日セキ、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの接種をつぎの日程でおこないます。

▽昭和四十六年四月一日
▽昭和四十七年三月三十一日まで

た赤ちゃんは三週間おきに三回接種をうけてください。

診療所

- ▽十一月九日 午後一時～二時 栄地区(栄支所)
- ▽十一月九日 午後一時半～二時半 飯詰地区(飯詰支所)
- ▽十一月十日 午前十時～十一時 七和地区(七和支所)
- ▽十一月十日 午後一時半～二時 毘沙門地区(毘沙門小学校)
- ▽十一月十四日 午後二時～二時半 中川地区(中川支所)
- ▽十一月十四日 午後一時半～二時 三好地区(三好診療所)
- ▽十一月十五日 午後二時～二時半 梅沢地区(梅沢支所)
- ▽十一月十五日 午後一時半～二時半 松島地区(松島支所)
- ▽十一月十六日 午後一時半～三時 旧市内、小曲新宮地区(市民文化会館第一集会所)
- ▽十一月十七日 午後一時半～三時 旧市内、小曲新宮地区(市民文化会館第一集会所)

①洗浄(ダイライトタック)した山菜を②選別機にかけて③缶に詰め④殺菌(蒸気)して⑤脱気、さらにフタをして冷却させると完成します。

同生産組合では、すでに昨年十月、ナメコ二千五百

「市文化祭」が開かれています

五所川原市文化振興会議など主催、青森県文化振興会議後援の「第12回五所川原市文化祭」は、十月二十九日～十一月五日まで市教育文化センターを主会場に開かれています。

会場別の催し物は次のとおりです。

▽十月二十九日(中央公民館、三道会館)市民茶会(裏千家、表千家、遠州会)

▽十一月二、三日(市民文化会館第二集会所)華道

展(池の坊、遠州会、小原流)

▽十一月三日(中央公民館)俳句大会(俳句会)(市内一円)文化碑めぐり(牧水、山蘭碑など六カ所)

▽十一月二、三、四、五日(お祭り広場)盆栽展(盆栽会)

▽十一月三、四、五日(「中三」デパート)洋画展(北美術)「市民文化会館ロビー」菊花展(晩香会)

(「郷土館」考古展(考古

▽昭和四十五年八月一日～昭和四十六年七月三十一日までの間に生れた赤ちゃんは、一回より接種をうけていない赤ちゃんはさらに三回接種をうけてください。

▽昭和四十七年二月までに三回接種をうけている赤ちゃんは追加の一回をうけてください。

料金は無料です。

▽十一月八日 午後一時半～二時半 松島地区(松島支所)

▽十一月八日 午後一時半～二時 長橋地区(長橋学舎)

▽十一月八日 午後一時半～二時 長橋地区(長橋学舎)

▽十一月八日 午後一時半～二時 長橋地区(長橋学舎)

▽十一月八日 午後一時半～二時 長橋地区(長橋学舎)

国連の日記念行事 開催のお知らせ

市民の参加とご聴講をお願いいたします。

十一月四日(土)

▽市中パレード

午後一時、市民文化会館前出発

▽記念講演

午後二時、市民文化会館ホール

講師、日本国連協会専務理事、NHK解説委員 坂田二郎氏

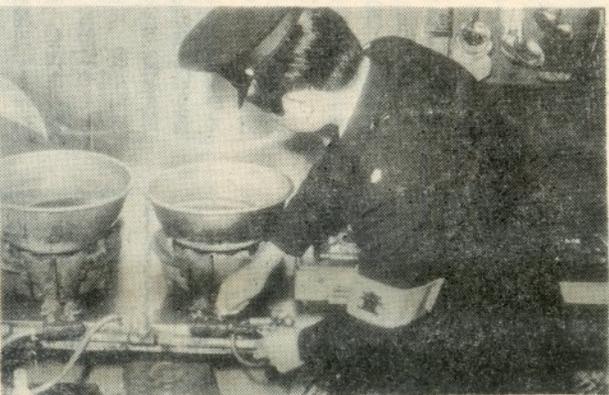
※殺菌乾燥機の使用にあたっては、もみ水分のは握と送風温度、時間には十分注意し過乾燥にならないよう注意してください。

初期消火・早期通報 秋の火災予防運動

11月30日まで実施

動期間中、公共施設での避難訓練や一般家庭の予防査察を行ないますが、とくにくらしのなかの防火の再点検として、一般家庭に次のことを呼びかけています。

- ▽たばこの投げ捨てと寝たばこは絶対やめましょう
- ▽火気を使用する場合はカーテンなど燃えやすいものの近く、出入り口の通路におかないようにしましょう
- ▽火器の不良箇所、破損個所の早期発見と早期修理を行ないましょう
- ▽燃焼中、残炎中の給油持ちはこびはやめましょう
- ▽老人、子供、病人などひとり留守居はできるだけさけ、やむを得ない場合は介添人、または近所の家との連絡を密にし、避難しやすい一階に寝かせるようにしましょう



火器の不良、破損個所に気をつけましょう

〃慣れた火に新たな注意を〃十月二十一日から十一月三十日まで「秋季火災予防運動」が行なわれていきます。

市内では、四十六年度に三十四件の火災が発生し、およそ二千四百万円が灰になっており、残火の不始末やたばこ火が発生原因の上位をしめています。

市消防本部
市消防署は連

お茶の間

からの提言



△おたずね▽
これから雨や雪が降り続きますが、市役所へ用事に行っても屋根

が困ります。善処をお願いいたします。 △一市民▽
△おこたえ▽
現在、庁舎とお祭り広場の中間に来庁者の自転車の置場を設けておりますが、屋根がないので非常に不便をかけていることと思えます。

所を造り、同時に屋根つきの自転車置場も検討しております。場所については、庁舎の北側か、市民文化会館側になる予定ですので、いましばらくお待ち願います。

◇係から 多数の提言があります。匿名がありご返事をさしあげるのに困っております。

自衛官防衛大学生募集

将来の日本の国防を若人の手で：

受験資格 高校生三年生、高卒二十歳まで
四年間学生として勉学し、卒業後一年間幹部候補生学校に入り幹部になります。

- 二十三歳 三尉 五八、八〇〇円
- 二十五歳 二尉 六一、九〇〇円
- 二十八歳 一尉 七一、九〇〇円
- 三十二歳 三佐 八七、六〇〇円

航空学生募集

〃若人の夢を大空に〃将来をパイロットの道に

かけてみませんか。
資格 高校生三年生、高卒二十歳まで受験できます。
給料 一年目(士長) 四五、〇〇〇円 十九歳
三年目(二曹) 五五、〇〇〇円 二十一歳
六年目(三尉) 八五、〇〇〇円 二十四歳
八年目(二尉) 九三、七〇〇円 二十六歳
案内、申込は、窓口サービスク⑤(二一)番(代表)
又は自衛隊五所川原募集事務所⑤(三三)五番へ

中小企業年末資金特別保証制度

▽実施期間

昭和四十七年十月十一日
から昭和四十八年一月三十一日(水)まで

▽資金の使途
運転資金

▽保証金額

一企業につき個人、法人
五、〇〇〇千円以内
組合一五、〇〇〇千円以内

ただし、組合が組合員に
転貸する場合は一組合員
五、〇〇〇千円以内とし、
その限度額五〇、〇〇〇千
円以内とする。

▽保証期間
六カ月以内
▽保証形成
手形貸付、証書貸付および
手形割引の保証
▽償還方法

所を造り、同時に屋根つきの自転車置場も検討しております。場所については、庁舎の北側か、市民文化会館側になる予定ですので、いましばらくお待ち願います。

一括払い

▽利息、保証料

利息 取扱金融機関の所
定利率
保証料 年率一・四三割

▽保証人、担保

保証人はひとり以上とし、必要に応じて担保を徴します。

▽受付場所

取扱金融機関、県信用保証協会本、支所

なお詳しくは市商工観光課におたずねください。

旧市内ゴミ収集週2回に

(11月1日から実施)

- ◇月、木曜日 上平井町
- 中平井町、平井町、下平井町、十川町、新宮団地、さつき町、尻無の一部、旭町、敷島町、東雲町、ひなた町、大町
- ◇火、金曜日 本町、弥生町、田園調布、松島団地、鎌谷町、新町、栄町、田町、湊団地、さかえ保育所裏田町
- ◇水、土曜日 新宮町、末広町、錦町、幾島町、柏原町、柳町第一第二、成田町、小曲地区、川端町、寺町、岩木町、平和町、元町、布屋町、東町

市では、四十七年度から「文化の振興、発展に功績があり」「公共福祉の増進に業績を残し」「徳行の秀れた」市民を顕彰することになり、さる九月三十日から施行した表彰規則で「文化褒賞」「市褒賞」を制定しました。

その第一回「文化褒賞」には、風土病ととりくみ文化、体育の振興につくした増田桓一氏、画壇に新風をおくる伊藤正規氏、また「市褒賞」には、初代市長をつとめ、地方自治につくした外崎千代吉氏、長年消防活動に従事した荒谷勝太郎氏、さらに満百歳という長寿を全うしている真藤ひてさんの五人が決まり十一月三日「文化の日」に授賞式がおこなわれます。

賞の受賞者きまる

11月3日に授賞式



夫人芳子さん



伊藤正規氏



夫人エイさん



増田桓一氏

文化褒賞

昭和二十九年に市制を施行してから十八年の歳月が経ちましたが、五所川原市もめまぐるしい時代の変革に対応しながら西北五地域の中心都市にふさわしい成長を遂げてきました。

表彰にあたって

昭和二十九年に市制を施行する障害を克服しながら市の文化の振興、発展、福祉の増進に大きな功績があった方々を顕彰し、その労苦にいささかなりとも報いよう。立派な方々であります。またほう賞を受けられる方々に陰ながら励ましてこられた奥さま方には、

市長 佐々木栄造

増田 桓一氏(六三)

市内新町四一番地

昭和十九年、増田病院長に就任以来、不治の病といわれた風土病クシビ・ガッチャキを研究、究明し、独自の治療法を開発して風土病の病禍から多くの人々を救いました。学界はもちろん、当地方の保健衛生思想の向上に大きな功績をあげています。また日本国際連合協会設立とともにその主旨にいち早く賛同され、昭和二十二年から五所川原支部長となつて、国際理解と平和精神の普及、実践に努め今日に至っております。

さらに北五医師会長、市体育協会長、市文化振興会議会長、市社会福祉協議会長や各種審議会委員を歴任し、本業の医療はもとより文化、体育、社会奉仕活動に長年にわたつて尽力しています。

内助功労章

夫人 エイさん

昭和十一年、増田氏と結婚以来、陰に陽に謙虚に夫と共に歩んで、内助の功を発揮されました。

伊藤 正規氏(六〇)

東京都練馬区豊玉北四丁目二五番地

市内梅田出身で画家、光風会々員。昭和十七年東京美術学校(現芸大)を卒業し、画家としての一步を踏み出しました。氏の作風は独特の持味があつて、デッサンの確かさは定評があります。昭和四十五年の日展出品作品「窓」がその最高榮譽である特選に輝き、デッサンのすばらしさ、色彩の濃淡による遠近の新表現は新しい画の領域を拓いたものとして全国的に絶讃をうけました。大作を画く場合、必ず梅田に帰り思索し筆を執るといふ、題材を故郷の美しさに求め絵をとおして故郷の美しさを多くの人々に紹介してきました。依頼をうけて市内の学校の校章の制作に当るなど秀れた作品は感銘を与えています。

内助功労章

夫人 芳子さん

夫君と共に画家であり、画家としての助言はもとより、家庭にあつては一般婦人と変りなく務め、夫君の郷里への理解と愛着を深めています。

市褒賞

外崎 千代吉氏(七五)

市内旭町五〇番地二号

文化褒賞・市褒

表彰推せん 委員会委員

会長 村上純一
副会長 角田昭三
委員 秋田長兵衛、平
山金三郎、石岡義雄、阿部
芳五郎、江渡セツ、坂本庸
一、小野雄蔵、小栗山作太
郎

(順不同、敬称略)



外崎千代吉氏



夫人いとさん



荒谷勝太郎氏



夫人ミセさん



(ことしの「敬老の日」に写す)

真藤 ひてさん(一〇〇)

市内羽野木沢字隈無二四番地
ひてさんは、明治五年五月二十五日、旧
飯詰村の神官松野伝(つたえ)さんとつね
夫人の間に生まれ、ことし五月二十五日満
百歳の長寿を全うされ、人生に大きな夢と
希望をもたらしました。

長寿者として敬老の日に田中総理大臣か
ら顕彰状と銀杯をうけ、県知事、県社協、
市長から表彰されましたが、いまでも居間
でテレビや新聞を見て社会批判をブツ元気
さです。これまで、部落の子女が満足な教
育をうけていないのにも心を痛め、自宅に
裁縫塾を設け作法を身につけさせるなど、
子女教育にも尽力してきました。
村民の尊敬と信望を集め、多くのおとし
よりに「老後」の自信を与えました。

昭和十年県議会議員に当選、一時新聞社経営に当たるな
ど、言論界一方の雄と稱したこともあるが、昭和二十
二年衆議院議員に立候補し、数多くの候補者の中にあつて
青森県二区から見事当選し津軽のため万丈の気を吐いた。
町村合併で誕生した市の初代市長となり、昭和三十二年
に開催した「平和産業博覧会」では、学校敷地、住宅団地
敷地として買収した約二万坪を会場に充て、全国的な注目
を集め各方面から賞讃を浴び、五十二日間開催されたこと
は長く市政史上に残る業績です。在任中から市の遺族連合
会長として市内一千人遺族のため会の発展と充実につとめ
ました。長年の地方自治功労者として勲四等瑞宝章をうけ
ています。

内助功労章

夫人 いとさん

夫君が政治のため家庭に不在がちなため、いっさいは夫
人によって賄われ、五十年間にわたる血のじむ努力があ
りました。

荒谷 勝太郎氏(七四)

市内中平井町八五番地

町村合併による新消防団の組織固めと強化に貢献しまし
た。昭和十九年、二十一年の大火に際しては的確な指導と
消火で避難救助活動に全力をあげ、ひとりの死者もなく鎮
火に成功したのは高く評価されています。

昭和二十六年、五所川原町議に選任されると、とくに
消防行政の充実に努め、消防施設の強化促進に尽力した功
績で、三十四年二月県ほう賞を贈られています。

四十二年、市消防審議会が設置されるにあたり初代会長
に選ばれ、老令にかかわらず日夜、市消防行政の充実強化
に尽され、現在なお「カクシヤク」と卒先して活躍してお
り市民から称賛されております。

内助功労章

夫人 ミセさん

消防団長の要職にあつた夫君を助け、励まし火災発生
の報を受けるや長靴、刺子、トビロ、高張ちようちんを手際
よく手渡し、夫を火災現場に送り出した内助の功ははかり
知れない。

市表彰規則

「文化ほう賞」市ほう
賞は、さる九月三十日施
行した「市表彰規則」で、
市長が委嘱した委員(十人
)からなる「市表彰推せん
委員会」にはかつて市長が
決めます。

表彰の範囲は①芸術、学
術、教育および体育などの
振興、発展②市政の進展③
産業経済の発展などに著し
く功績があり、また、④徳
行がとくに秀れた市民など
に与えられます。

また表彰をうけたものの
配偶者で、内助の功が顕著
なものに対しては「内助功
労章」を贈ります。

11月1日～12月28日

市税完納強調期間

完納で新しい年を

市では十一月一日から十二月二十八日までを「市税完納強調期間」に定めており、市民の皆さんにご協力をお願いします。

お手もとの納税通知書を

いま一度たしかめ、十二月二十八日までには、すべての税金を完納して、明るい年を迎えましょう。

▽これからの市税納期限は

固定資産税(第四期)十一月三十日

保険税(第三期)十一月三十日

市県民税(第四期)十二月二十八日

保険税(第四期)十二月二十八日

▽まだ納税貯蓄組合に入っていない方へ

市の納税貯蓄組合は、現

在百七十五組合で、組合員数は六千百十四世帯になっております。組合員の方は計画的な納税準備預金ですべて完納されております。まだ組合に入っていない方は、すぐ地域の組合に加入して、納めやすく完納しましょう。

▽次の金融機関で税金を納めることができます

青森銀行五所川原支店、弘前相互銀行五所川原支店、青和銀行五所川原支店、津軽信用金庫五所川原支店、

青森県信用組合五所川原支店、青森銀行原子支店、北奥羽信用金庫七和支店、五所川原市農協三好支所

七倍保障のニユークローバー保険発売

手軽に利用できる保険として皆さんに親しまれている郵便局の簡易保険は、このほど七倍保障の「ニユークローバー保険」を発売しました。

この保険は、これまでの保険に比べて安い掛金で大きな保障が得られるというすぐれた特長をもっています。満期保険金百万円の場合、災害や事故などがあつたときには七百万円(二年

経過後で重い過失がないとき)お支払いしますが、毎月の掛金はわずか五千三百五十円(三〇歳、期間二十年)と大変割安になっています。

そのほかの保障として、災害や事故で入院されたときには入院保険金として一日あたり三千円を百二十日までお支払いし、また災害や事故で指や手足をなくされたときには、その程度によって小指一本の三十万円から最高三百万円までお支払いします。

このように、ニユークローバー保険は安い掛金で大きく巾広い保障をしますのので、とくに働き盛りのご主人にピッタリの保険といえます。(五所川原郵便局) **堆肥生産に1/2の補助**

市では地力を高め、うまい米づくりを推進するため四十六年度に引き続き、堆肥生産農家に補助金を出します。

補助の対象になるのは、一カ所二十アル分以上の堆肥生産に必要な木ワクなどの資材、石灰チソソなどの経費について二分の一、五千円を限度として補助します。稲わらは、土へ還元するように努めましょう。

納税者の声を聞く旬間

十一月一日から十日までは「納税者の声を聞く旬間」として、国税庁、国税局をはじめ全国の税務署でいろいろな行事を行ないます。

この旬間は、納税者のかたがたから、税金に対する苦情や要望、税務職員の応待などについてのご意見を

お聞きして、今後の税制や税務の仕事の上に反映せるとともに、税務署の仕事の内容や納税の意義をよく理解していただくために行なうものです。日ごろ税金について考えておられるご意見やご要望がありましたら、この機会にお聞かせください。

奥さま方へ

五所川原市の国民年金事業も着々成果をあげ、市民の生活にゆるぎなく定着しつつあります。

国民年金

この十一月一日から全国一っせいに「国民年金普及推進月間」と定め任意加入をすすめています。

任意加入のおすすめ

11月1日から年金普及推進月間

サラリーマンの奥さんは将来、ご主人が加入しておられる年金制度に頼ることができるといふことで、奥さん自身を保障する独自の公的年金制度がなく、国民皆年金の現在にあつても、

奥さんも国民年金に入ることができるわけですが、もし、加入していないと、年金制度から永久にとりのこされることとなります。物価に対する関心と同じように、奥さん自身年金にも関心を持っていただきたいと

す。奥さんも国民年金に入ることができるわけですが、もし、加入していないと、年金制度から永久にとりのこされることとなります。物価に対する関心と同じように、奥さん自身年金にも関心を持っていただきたいと

また任意加入者については高額年金、つまり「所得比例制度」に加入する権利も与えられます。詳しいことは健康年金課国民年金係へお問い合わせください。

結核予防健康診断(レントゲン撮影)のお知らせ

みなさん、結核は間接撮影(レントゲン)でないとわからない病気で
す。結核検診は、病気を事前に発見するため実施するものです。次の日
程でおこないますから、必ず健康診断をうけてください。

地区名	月日	曜日	受診場所	受診時間
小曲	11月13日	月	小曲集会所	9時~10時
錦町 柏原町 幾島町	"	"	錦町集会所前	10時10分~11時10分
新宮町 未広町	"	"	保健所前	11時20分~12時10分
上平井町 中平 井町 平井町	"	"	三井生命五所 川原支部付近 新宮団地集會 所付近	午後1時~2時
新宮団地	"	"	老人ホーム前	午後2時10分~3時
下平井町	11月14日	火	和田新宅付近	9時~10時30分
さつき町	"	"	敷島分院前	10時35分~11時20分
敷島町	"	"	岩谷りんご店 付近	12時~午後1時
東雲町 ひな田町	"	"	村元酒店付近	午後1時10分~2時10分
大町 旭町	11月15日	水	毛内酒店横	9時~10時20分
布屋町 東町	"	"	農協会館前	9時30分~10時30分
弥生町	"	"	西北教育事務 所前	10時35分~11時20分
鎌谷町	"	"	蒔田商店前	12時~午後1時
元町	"	"		午後1時10分~2時10分
岩木町 本町 川端町 寺町	11月16日	木	市民文化会館前	9時~11時
新町 柳町 成田町	"	"	永福神社付近	11時5分~12時5分
平和町 日の出町	"	"	白衣神社前	12時45分~午後2時
田町 栄町	"	"	三上商店前	午後2時5分~3時10分
持子 沢 一野 坪	11月17日	金	対馬静賢宅前	9時30分~10時30分 12時~12時30分

出稼者の健康診断

一四五人指摘される

一月に二回目を計画

五所川原保健所、市出稼
対策室は「安全で明るい」
出かせぎをめざし、九月に
十二日間にわたって出かせ
ぎ者の健康診断を行ないま
したが市内で

検診をうけた
五百五十二人
の二六・三割
にあたる百四
十五人が治療
と注意が必要
だと指摘され
ました。
健康診断で
は、尿検査の
結果、たんば
くと糖のいず
れか一方が検
出され「要注
意」と指摘さ
れた人が九十
七人もあり、
治療の必要な



「血圧測定」をうける出かせぎ者たち

四人とあわせると、指摘さ
れた人の七〇割と大半をし
めています。
四十歳以上を対象とした
血圧測定では、二十四人が

高血圧か低血圧で治療が必
要で、ほかに十六人が「要
注意」(治療と注意をあわ
せ全体の二八割)と指摘さ
れましたが、なかには最高
血圧が二〇〇(ミリ)と危
険な状態の人もありまし
た。

ほかにレントゲン(間接
)検査で四人が精密検査の
必要を指摘されています。
今回検診をうけたのは、

「児童手当制度」を

知っていますか

うちひとり以上が昭和四十
二年一月二日以後に生まれ
た児童であること

▽その人の前年の収入が
一定の額に満たないこと(扶
養親族など五人の場合、
およそ二〇〇万円を超えな
い所得であること)

児童手当の額は
児童手当の月額が三人以
上の児童のうち、出生順に
数えて三人目以降であっ
て、昭和四十二年一月二日
以後に生まれた児童ひとり
につき三、〇〇〇円です。

▽児童手当支給制度が
ことし一月一日から実施さ
れていますが、お宅では手
続きをお済みですか。左記
に該当する方で、まだ手続
きをしてない方は、速やか
に市福祉事務所へお届けく
ださい。また、届出の際は
必ず印鑑、健保、国保など
の被保険者証をご持参願
います。
児童手当を受けることが
できる人は
▽十八歳未満の児童を三
人以上養育しており、その

市内も3分ごと7円に

新通話料金制度

11月12日からスタート

電々公社では生活圏、経済圏の広がりによって新しい通話料金制度として現在の市内通話、市外通話の区別を廃止して新たに三分ごとに七円でかけられる広い区域を設定し、十一月十二日午前零時から実施します。

通話の種類を「区域内通話」「隣接区域内通話」「区域外通話」の三種に改めますが、改正のおもな内容は次のとおりです。

▽現在の市内通話と市外通話の区別を廃止し、これまでの市内通話も三分ごとに七円の時分制になります。

たばこは市内の販売店から

昭和四十七年度の「たばこ消費税」として、約七千万円が市の歳入となって教育、土木、社会福祉などの施設に役立っています。

たばこをお買い求めのさいは、出かせぎ者の皆さんにご協力をお願いします。市内の販売店へご注文ください。出かせぎ先へ郵送します。

す。

▽最低の料金(三分ごとに七円)で通話のできる区域を大きく広げ五所川原、鶴田、金木、中里、木造、梅沢、小泊などの各局をひとつのグループとし、そのグループ内相互のダイヤル通話は三分ごとに七円となります。この通話を「区域内通話」といいます。

48年度の訓練生を募集

五所川原総合高等職業訓練校は、昭和四十八年度の訓練生を次の要領で募集します。

▽訓練科目、募集定員
機械科(機械専攻)二十五人、機械科(仕上専攻)二十人、電子機器科二十五人、配管科二十五人、板金科二十五人、溶接科二十五人

▽入校資格
義務教育卒業以上の学力があり、身体に欠陥がなく

▽隣りのグループ(青森蟹田、弘前、鯉ヶ沢)へのダイヤル通話は八〇秒ごとに七円とし、これまでより三割ほど長くお話しができるようになります。(これは六〇秒ごとに七円)この通話を「隣接区域内通話」といいます。
▽このほかのグループへの通話(中遠距離通話)の料金は現行どおりです。
この通話を「区域外通話」といいます。
なお詳しくは五所川原電報電話局、営業課電話④二〇〇一番へお問い合わせください。

入校選考に合格した者

▽入校手続

次の書類をそえて、当校または最寄りの公共職業安定所に提出してください。
用紙は本校または、出身校および公共職業安定所にあります。

入校願、身上書(写真ライカ判二枚、三カ月以内に撮ったものを添付してください)身体検査書(保健所または公立病院でうけたもの)学業成績証明書(新規

ズナの三種類が見つかったこと。めったに生育現場にお目にかかることができないといわれている、マンネンタネの群落が道路のすぐわきにあること。
野草の貴族といわれるラ

ン科植物が数種姿を見せていたことです。市民のためのもとしては、全国的に例がすくない施設ですので、大事にしたいものです。

野草の花だより

五月から十月までの花の期間、津軽フラワーセンターの野草をたずね歩いてみました。

月に二回ぐらいのわりで道路をひとまわりし、目に触れた野草をメモしてきましたが、二百五十種ばかり記録することができました。道路をまわるだけでなく、雑木林の

津軽フラワーセンター

(一年のまとめ)

これまで、青森県では同一個所から見つかったことのなかつたナズナ、グンパイナズナ、マメグンパイナ

市民のためのもとしては、全国的に例がすくない施設ですので、大事にしたいものです。

市政ダイヤル

放送でテレビを知らせたい方は、お電話ください。お電話の受付は、午前八時から午後八時三十分までです。

RAB(青森放送)毎週土曜日午前10時26分から

学校卒業で学校長発行のもの)

用紙の郵送を希望する場合は、自分のあて先を書いた封筒に二十円切手をはって申し込んでください。

▽願書の受付、締切
昭和四十七年十一月六日(月)～同年十二月四日(月)

▽選考日、選考方法
昭和四十七年十二月十六日(土) 国語、数学、理科の学力について簡単な筆記試験(六〇分程度)と面接試験を行います。

▽合格発表
昭和四十七年十二月二十三日(土) 本人、学校、公共職業安定所に通知するか新聞紙上に発表します。

▽入校日
昭和四十八年四月上旬

なお科目別の訓練内容など詳しくは、五所川原総合高等職業訓練校、電話〇一七三三(市外)〇二〇二四番、〇二〇二五番にお問い合わせください。

市の執務時間が変わります

市の執務時間が十一月一日から三月三十一日まで、つぎのとおりになります。平日、午前八時三十分から午後四時十五分まで、休憩時間は午後零時から午後零時四十五分まで、土曜日は午前八時三十分から午後零時十五分までとなります。

市政ニュース

昭和47年11月1日 291号
毎月1日・15日発行 一部4円
発行所 五所川原市役所



昭和二十年代
それは食糧増産の時代であった。
米とりんごの里 津軽に明るい陽がさした。
昭和三十年代
それは工業国へ脱皮の時代であった。
村から都市へ雪崩のように人が移り
農山漁村の二、三男対策は無用となった。
昭和四十年代
過疎と過密と公害の時代がやってきた。
しかも米が余るといふ世の中でもある。
しかし米一筋の津軽の農民にとつて
米作りはやはり生き甲斐である。
津軽の斜陽に挑み今日もがんばる。

財団法人 市教育振興会設立

会長に増田桓一氏

「学園都市づくりをすすめている市は、これまでの文教施設の整備と併行して教育の不均衡をなくし、有為な人材を育てるため十月から財団法人「五所川原市教育振興会（増田桓一会長）」を設立しました。

設立された「市教育振興会」は、さる九月三十日、県教育委員会から設立許可を受け、会の当初運用基金として一千万円（市出資金五百万円、有志者寄付金五百万円）で発足しました。

同会は、経済事情によつて就学が困難な①高校生に対し、入学科と授業料の相当額を給与し②大学志望者に対しては、三十万円を限度として入学仕度金を貸与します。

また、資金の捻出が困難である、など特殊な条件下にあつて③文教施設の設備をする場合、整備費を助成する④学術研究、出版刊行などに対して支援金を交付する、の四点を事業の柱にしています。

会には、設立当初の役員として、次の十五人が選任されましたが、任期が切れる四十九年三月三十一日以降は理事（会長、副会長、常任理事を含む）監事あわせ三十人で構成されます。

当市は、地域経済の遅れから生活水準に格差があり高校進学率も県平均を若干上回っていますが、全国平均をかなり下回っています。

上位等級米80%目標

市産米改良協議会

五所川原市産米改良協議会は、十月二十四日午前十時から産経会館に市内の各農協や、もみすり、集荷業者などの関係団体から三十人ほどが出席して開かれ、協議会の新会長に佐々木市長を選任しました。

協議会では、佐々木市長が新しい委員ひとりひとり委嘱状を交付したあと、産米改善の推進対策として「本年産米の上位等級米（三等米以上）比率の八〇割

公害対策審議会 発足

十月一日施行された「市公害防止条例」に伴う公害対策審議会がこのほど発足し、会長に前田義則氏が決まりました。

対策審議会には市内の学識経験者や関係行政機関、公共団体、企業関係の代表者十五人が市から委嘱されました。

対策審議会では、今後公害対策について、市長の諮問に応じて基本的事項を調査、審議してゆきます。

△会長 前田義則▽副会長 高松功▽委員 対馬昭幸、千田豊、阿保孫市、小野村正巳、村上純一、開米佐太郎、石井征次郎、佐藤貞、神三男、小野仁太郎、斎藤一郎、対馬字之吉、小笠原幸雄（敬称略）

市政ダイヤル

その日の
行事や予定は

でんわ⑤4321

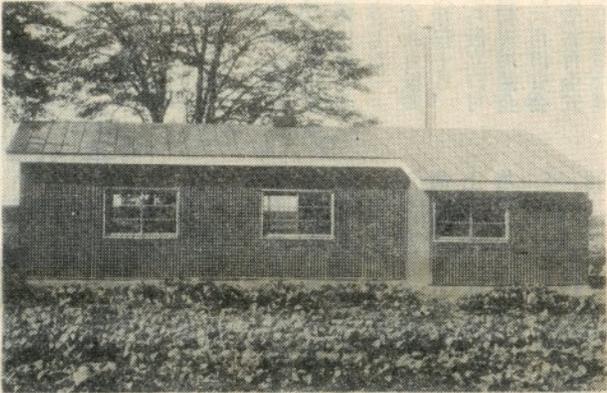
山菜加工場完成

下岩崎ナメコ生産組合

下岩崎ナメコ生産組合(野宮金助組合長、組合員十二人)が、二百七十一万八千円(国、県が六割補助)で建設していた「山菜処理加工場」が完成し、十一月中旬操業します。

完成した加工場には、殺菌パック(六ケース用)、洗浄選別機(六段ロータリー式)、ボイラー(全自動)が施設され、試運転を始めた。加工場の加工工程は、①洗浄(ダイライトタック)した山菜を②選別機にかけて③缶に詰め④殺菌(蒸気)して⑤脱気、さらにフタをして冷却させると完成します。

同生産組合では、すでに昨年十月、ナメコ二千五百箱を収容できる菌舎を完成させており、操業を前にフキ、ワラビおよび千草を漬け、本格的な加工に備えておりました。同生産組合では、ひと缶四百入り、山菜加工製品として、大手卸し売りメーカーと契約し販売する方針ですが、ひと冬に総収入から諸支出を差し引きおよそ二百万円(労賃



完成した「山菜処理加工場」

相殺分を含む)の収益を見込んでおります。

三種混合ワクチン 2回目の接種

百日セキ、ジフテリア、破傷風の三種混合ワクチンの接種をつぎの日程でおこないます。

▽昭和四十六年四月一日
▽昭和四十七年三月三十一日まで

た赤ちゃんは三週間おきに三回接種をうけてください。

診療所)
▽十一月九日 午後一時～二時 栄地区(栄支所)
▽十一月九日 午後一時半～二時半 飯詰地区(飯詰支所)
▽十一月十日 午前十時～十一時 七和地区(七和支所)
▽十一月十日 午後一時半～二時 毘沙門地区(毘沙門小学校)
▽十一月十四日 午後二時～二時半 中川地区(中川支所)
▽十一月十四日 午後一時半～二時 三好地区(三好診療所)
▽十一月十五日 午後二時～二時半 梅沢地区(梅沢支所)
▽十一月十五日 午後一時半～二時半 松島地区(松島支所)
▽十一月十六日 午後一時半～三時 旧市内、小曲新宮地区(市民文化会館第一集会所)
▽十一月十七日 午後一時半～三時 旧市内、小曲新宮地区(市民文化会館第一集会所)

▽昭和四十五年八月一日～昭和四十六年七月三十一日までの間に生れた赤ちゃんで、一回より接種をうけていない赤ちゃんはさらに三回接種をうけてください。

▽昭和四十七年二月までに三回接種をうけている赤ちゃんは追加の一回をうけてください。

料金は無料です。

▽十一月八日 午後一時半～二時半 松島地区(松島支所)
▽十一月八日 午後一時半～二時 長橋地区(長橋支所)
▽十一月八日 午後一時半～二時 津軽法定会)

国連の日記念行事 開催のお知らせ

市民の参加とご聴講をお願いいたします。

十一月四日(土)
▽市中パレード
午後一時、市民文化会館前出発

▽記念講演
午後二時、市民文化会館ホール
講師、日本国連協会専務理事、NHK解説委員 坂田二郎氏

※殺菌乾燥機の使用にあたっては、もみ水分のは握と送風温度、時間には十分注意し過乾燥にならないよう注意してください。

「市文化祭」が開かれています

五所川原市文化振興会議など主催、青森県文化振興会議後援の「第12回五所川原市文化祭」は、十月二十九日～十一月五日まで市教育文化センターを主会場に開かれています。

会場別の催し物は次のとおりです。

▽十月二十九日(中央公民館、三道会館)市民茶会(裏千家、表千家、遠州会)
▽十一月二、三日(市民文化会館第二集会所)華道

展(池の坊、遠州会、小原流)
▽十一月三日(中央公民館)俳句大会(俳句会)(市内一円)文化碑めぐり(牧水、山蘭碑など六カ所)
▽十一月二、三、四、五日(お祭り広場)盆栽展(盆栽会)
▽十一月三、四、五日(「中三」デパート)洋画展(北美術)「市民文化会館ロビー」菊花展(晩香会)(郷土館)考古展(考古

学会)「同窓接室」魚拓展(潮友会)「同第一集会所」書道展(書道会)「丸キ」デパート」日本画展(津軽法定会)
▽十一月三日(市民文化会館ホール)謡曲(宝生会)「箏曲(双葉会)ピアノ(ドレミ会、若草会)人形劇(保存会)民謡(民謡協会)パレエ(棟方研究所)奴踊(奴踊保存会)詩吟剣舞(詩吟剣舞)合唱(合唱団、ママさんコーラス)日本舞踊(綾扇会)
▽十一月五日(中央公民館)川柳大会(岩木吟社)
▽十一月十二日(中央公民館)短歌大会(短歌会)

初期消火・早期通報 秋の火災予防運動

11月30日まで実施

動期間中、公共施設での避難訓練や一般家庭の予防査察を行ないますが、とくにくらしのなかの防火の再点検として、一般家庭に次のことを呼びかけています。

- ▽たばこの投げ捨てと寝たばこは絶対やめましょう
- ▽火気を使用する場合はカーテンなど燃えやすいものの近く、出入り口の通路におかないようにしましょう
- ▽火器の不良箇所、破損個所の早期発見と早期修理を行ないましょう
- ▽燃焼中、残炎中の給油持ちはこびはやめましょう
- ▽老人、子供、病人などひとり留守居はできるだけさけ、やむを得ない場合は介添人、または近所の家との連絡を密にし、避難しやすい一階に寝かせるようにしましょう



火器の不良、破損個所に気をつけましょう

〃慣れた火に新たな注意を十月二十一日から十一月三十日まで「秋季火災予防運動」が行なわれていきます。

市内では、四十六年度に三十四件の火災が発生し、およそ二千四百万円が灰になっており、残火の不始末やたばこ火が発生原因の上位をしめています。

市消防本部
市消防署は連

お茶の間

からの提言



△おたすね▽
これから雨や雪が降り続きますが、市役所へ用事に行っても屋根

ば困ります。善処をお願いします。 △一市民▽
△おこたえ▽
現在、庁舎とお祭り広場の中間に来庁者の自転車の置場を設けておりますが、屋根がないので非常に不便をかけていることと思えます。

所を造り、同時に屋根つきの自転車置場も検討しております。場所については、庁舎の北側か、市民文化会館側になる予定ですので、いましばらくお待ち願います。

◇係から 多数の提言があります。匿名がありご返事をさしあげるのに困っております。

自衛官防衛大学生募集

将来の日本の国防を若人の手で：

受験資格 高校生三年生、高卒二十歳まで
四年間学生として勉学し、卒業後一年間幹部候補生学校に入り幹部になります。

- 二十三歳 三尉 五八、八〇〇円
 - 二十五歳 二尉 六一、九〇〇円
 - 二十八歳 一尉 七一、九〇〇円
 - 三十二歳 三佐 八七、六〇〇円
- 航空学生募集

〃若人の夢を大空に 将来をパイロットの道にかけてみませんか。

資格 高校三年生、高卒二十歳まで受験できます。
給料 一年目(士長) 四五、〇〇〇円 十九歳
三年目(二曹) 五五、〇〇〇円 二十一歳
六年目(三尉) 八五、〇〇〇円 二十四歳
八年目(二尉) 九三、七〇〇円 二十六歳
案内、申込は、窓口サービスク⑤(二一)番(代表)
又は自衛隊五所川原募集事務所⑤(三三)五番へ

中小企業年末資金特別保証制度

▽実施期間

昭和四十七年十月十一日
から昭和四十八年一月三十一日(水)まで

▽資金の使途
運転資金

▽保証金額

一企業につき個人、法人
五、〇〇〇千円以内
組合一五、〇〇〇千円以内

ただし、組合が組合員に
転貸する場合は一組合員
五、〇〇〇千円以内とし、
その限度額五〇、〇〇〇千
円以内とする。

▽保証期間
六カ月以内
▽保証形成
手形貸付、証書貸付および
手形割引の保証
▽償還方法

所を造り、同時に屋根つきの自転車置場も検討しております。場所については、庁舎の北側か、市民文化会館側になる予定ですので、いましばらくお待ち願います。

一括払い

▽利息、保証料

利息 取扱金融機関の所
定利率
保証料 年率一・四三割

▽保証人、担保

保証人はひとり以上とし、必要に応じて担保を徴します。

▽受付場所

取扱金融機関、県信用保証協会本、支所

なお詳しくは市商工観光課におたすねください。

旧市内ゴミ収集週2回に

(11月1日から実施)

- ◇月、木曜日 上平井町
- 中平井町、平井町、下平井町、十川町、新宮団地、さつき町、尻無の一部、旭町、敷島町、東雲町、ひなた町、大町
- ◇火、金曜日 本町、弥生町、田園調布、松島団地、鎌谷町、新町、栄町、田町、湊団地、さかえ保育所裏田町
- ◇水、土曜日 新宮町、末広町、錦町、幾島町、柏原町、柳町第一第二、成田町、小曲地区、川端町、寺町、岩木町、平和町、元町、布屋町、東町

市では、四十七年度から「文化の振興、発展に功績があり」「公共福祉の増進に業績を残し」「徳行の秀れた」市民を顕彰することになり、さる九月三十日から施行した表彰規則で「文化褒賞」「市褒賞」を制定しました。

その第一回「文化褒賞」には、風土病ととりくみ文化、体育の振興につくした増田桓一氏、画壇に新風をおくる伊藤正規氏、また「市褒賞」には、初代市長をつとめ、地方自治につくした外崎千代吉氏、長年消防活動に従事した荒谷勝太郎氏、さらに満百歳という長寿を全うしている真藤ひてさんの五人が決まり十一月三日「文化の日」に授賞式がおこなわれます。

また「文化褒賞」と「市褒賞」を受賞した配偶者に対しては、その内助の功に報いるため「内助功労章」を贈って、長年にわたる内助をたたえます。

賞の受賞者きまる

11月3日に授賞式



夫人芳子さん



伊藤正規氏



夫人エイさん



増田桓一氏

文化褒賞

昭和二十九年に市制を施行してから十八年の歳月が経ちましたが、五所川原市もめまぐるしい時代の変革に対応しながら西北五地域の中心都市にふさわしい成長を遂げてきました。

この発展はひとえに五万市民の努力によるもので常日頃深く感謝申しあげているところであります。

こうした社会の激しい移り変わりの中において、あら

表彰にあたって

昭和二十九年に市制を施行する障害を克服しながら市の文化の振興、発展、福祉の増進に大きな功績があった方々を顕彰し、その労苦にいささかなりとも報いよう立派な方々であります。またほう賞を受けられる方々に陰ながら尽してこられた奥さま方には、

市 長 佐々木栄造

うと「五所川原市表彰規則」を作り、今年はその第一回の表彰であります。表彰者の選考にあたっては、表彰推せん委員会には、慎重にご審議いただき、

市民とともに心からお祝いを申しあげます。

市 長 佐々木栄造

うと「五所川原市表彰規則」を作り、今年はその第一回の表彰であります。表彰者の選考にあたっては、表彰推せん委員会には、慎重にご審議いただき、

増田 桓一氏(六三)

市内新町四一番地

昭和十九年、増田病院長に就任以来、不治の病といわれた風土病クシビ・ガッチャキを研究、究明し、独自の治療法を開発して風土病の病禍から多くの人々を救いました。学界はもちろん、当地方の保健衛生思想の向上に大きな功績をあげています。また日本国際連合協会設立とともにその主旨にいちやく賛同され、昭和二十二年から五所川原支部長となつて、国際理解と平和精神の普及、実践に努め今日に至っております。

さらに北五医師会長、市体育協会長、市文化振興会議会長、市社会福祉協議会長や各種審議会委員を歴任し、本業の医療はもとより文化、体育、社会奉仕活動に長年にわたって尽力しています。

伊藤 正規氏(六〇)

東京都練馬区豊玉北四丁目二五番地

市内梅田出身で画家、光風会々員。昭和十七年東京美術学校(現芸大)を卒業し、画家としての一步を踏み出しました。氏の作風は独特の持味があつて、デッサンの確かさは定評があります。昭和四十五年の日展出品作品「窓」がその最高榮譽である特選に輝き、デッサンのすばらしさ、色彩の濃淡による遠近の新表現は新しい画の領域を拓いたものとして全国的に絶讃をうけました。大作を画く場合、必ず梅田に帰り思索し筆を執るといふ、題材を故郷の美しさに求め絵をとおして故郷の美しさを多くの人々に紹介してきました。依頼をうけて市内の学校の校章の制作に当るなど秀れた作品は感銘を与えています。

内助功労章

夫人 芳子さん

夫君と共に画家であり、画家としての助言はもとより、家庭にあつては一般婦人と変りなく務め、夫君の郷里への理解と愛着を深めています。

市褒賞

外崎 千代吉氏(七五)

市内旭町五〇番地二号

文化褒賞・市褒

表彰推せん 委員会委員

会長 村上純一
副会長 角田昭三
委員 秋田長兵衛、平
山金三郎、石岡義雄、阿部
芳五郎、江渡セツ、坂本庸
一、小野雄蔵、小栗山作太
郎

(順不同、敬称略)



外崎千代吉氏



夫人いとさん



荒谷勝太郎氏



夫人ミセさん



(ことしの「敬老の日」に写す)

真藤 ひてさん(一〇〇)

市内羽野木沢字隈無二四番地
ひてさんは、明治五年五月二十五日、旧
飯詰村の神官松野伝(つたえ)さんとつね
夫人の間に生まれ、ことし五月二十五日満
百歳の長寿を全うされ、人生に大きな夢と
希望をもたらしました。

長寿者として敬老の日に田中総理大臣か
ら顕彰状と銀杯をうけ、県知事、県社協、
市長から表彰されましたが、いまでも居間
でテレビや新聞を見て社会批判をブツ元氣
さです。これまで、部落の子女が満足な教
育をうけていないのにも心を痛め、自宅に
裁縫塾を設け作法を身につけさせるなど、
子女教育にも尽力してきました。
村民の尊敬と信望を集め、多くのおとし
よりに「老後」の自信を与えました。

昭和十年県議会議員に当選、一時新聞社経営に当たるな
ど、言論界一方の雄と稱したこともあるが、昭和二十
二年衆議院議員に立候補し、数多くの候補者の中にあつて
青森県二区から見事当選し津軽のため万丈の氣を吐いた。
町村合併で誕生した市の初代市長となり、昭和三十三年
に開催した「平和産業博覧会」では、学校敷地、住宅団地
敷地として買収した約二万坪を会場に充て、全国的な注目
を集め各方面から賞讃を浴び、五十二日間開催されたこと
は長く市政史上に残る業績です。在任中から市の遺族連合
会長として市内一千人遺族のため会の発展と充実につとめ
ました。長年の地方自治功労者として勲四等瑞宝章をうけ
ています。

内助功労章

夫人 いとさん

夫君が政治のため家庭に不在がちなため、いっさいは夫
人によって賄われ、五十年間にわたる血のじむ努力があ
りました。

荒谷 勝太郎氏(七四)

市内中平井町八五番地

町村合併による新消防団の組織固めと強化に貢献しまし
た。昭和十九年、二十一年の大火に際しては的確な指導と
消火で避難救助活動に全力をあげ、ひとりの死者もなく鎮
火に成功したのは高く評価されています。

昭和二十六年、五所川原町議に選任されると、とくに
消防行政の充実に努め、消防施設の強化促進に尽力した功
績で、三十四年二月県ほう賞を贈られています。

四十二年、市消防審議会が設置されるにあたり初代会長
に選ばれ、老令にかかわらず日夜、市消防行政の充実強化
に尽され、現在なお「カクシヤク」と卒先して活躍してお
り市民から称賛されております。

内助功労章

夫人 ミセさん

消防団長の要職にあつた夫君を助け、励まし火災発生
の報を受けるや長靴、刺子、トビロ、高張ちようちんを手際
よく手渡し、夫を火災現場に送り出した内助の功ははかり
知れない。

市表彰規則

「文化ほう賞」市ほう
賞は、さる九月三十日施
行した「市表彰規則」で、
市長が委嘱した委員(十人
)からなる「市表彰推せん
委員会」にはかつて市長が
決めます。

表彰の範囲は①芸術、学
術、教育および体育などの
振興、発展②市政の進展③
産業経済の発展などに著し
く功績があり、また、④徳
行がとくに秀れた市民など
に与えられます。

また表彰をうけたものの
配偶者で、内助の功が顕著
なものに対しては「内助功
労章」を贈ります。

11月1日～12月28日

市税完納強調期間

完納で新しい年を

市では十一月一日から十二月二十八日までを「市税完納強調期間」に定めており、市民の皆さんにご協力をお願いします。

お手もとの納税通知書を

いま一度たしかめ、十二月二十八日までには、すべての税金を完納して、明るい年を迎えましょう。

▽これからの市税納期限は

固定資産税（第四期）十一月三十日

保険税（第三期）十一月三十日

市県民税（第四期）十二月二十八日

保険税（第四期）十二月二十八日

▽まだ納税貯蓄組合に入っていない方へ

市の納税貯蓄組合は、現

在百七十五組合で、組合員数は六千百十四世帯になっております。組合員の方は計画的な納税準備預金ですべて完納されております。まだ組合に入っていない方は、すぐ地域の組合に加入して、納めやすく完納しましょう。

▽次の金融機関で税金を納めることができます

- 青森銀行五所川原支店、弘前相互銀行五所川原支店、青和銀行五所川原支店、津軽信用金庫五所川原支店、

七倍保障のニユー

クローバー保険発売

手軽に利用できる保険として皆さんに親しまれている郵便局の簡易保険は、このほど七倍保障の「ニユークローバー保険」を発売しました。

この保険は、これまでの保険に比べて安い掛金で大きな保障が得られるというすぐれた特長をもっています。満期保険金百万円の場合、災害や事故などがあつたときには七百万円（二年

経過後で重い過失がないとき）お支払いしますが、毎月の掛金はわずか五千三百五十円（三〇歳、期間二十年）と大変割安になっています。

そのほかの保障として、災害や事故で入院されたときには入院保険金として一日あたり三千円を百二十日までお支払いし、また災害や事故で指や手足をなくされたときには、その程度によって小指一本の三十万円から最高三百万円までお支払いします。

このように、ニユークローバー保険は安い掛金で大きく巾広い保障をしますの

で、とくに働き盛りのご主人にピッタリの保険といえます。（五所川原郵便局）

堆肥生産に

1/2の補助

市では地力を高め、うまい米づくりを推進するため四十六年度に引き続き、堆肥生産農家に補助金を出します。

補助の対象になるのは、一カ所二十アール分以上の堆肥生産に必要な木ワクなどの資材、石灰チソソなどの経費について二分の一、五千円を限度として補助します。

稲わらは、土へ還元するように努めましょう。

生活環境パトロール本部
住みよい 環境づくりに
でんわ ⑤1414

納税者の声を聞く旬間

十一月一日から十日までは「納税者の声を聞く旬間」として、国税庁、国税局をはじめ全国の税務署でいろいろな行事を行ないます。

この旬間は、納税者のかたがたから、税金に対する苦情や要望、税務職員の応待などについてのご意見を

お聞きして、今後の税制や税務の仕事の上に反映せるとともに、税務署の仕事の内容や納税の意義をよく理解していただくために行なうものです。

日ごろ税金について考えておられるご意見やご要望がありましたら、この機会にお聞かせください。

奥さま方へ

五所川原市の国民年金事業も着々成果をあげ、市民の生活にゆるぎなく定着しつつあります。

国民年金

この十一月一日から全国一っせいに「国民年金普及推進月間」と定め任意加入をすすめています。

任意加入のおすすめ

11月1日から年金普及推進月間

サラリーマンの奥さんは将来、ご主人が加入しておられる年金制度に頼ることができるといふことで、奥さん自身を保障する独自の公的年金制度がなく、国民皆年金の現在にあつても、

奥さんも国民年金に入ることができるわけですが、もし、加入していないと、年金制度から永久にとりのこされることとなります。物価に対する関心と同じように、奥さん自身年金にも関心を持っていただきたいと

思います。ちよつとした心掛ひとつで、奥さん自身の老令年金はもろろん、思わぬ事故などで障害者や母子家庭となつた場合でも、国民年金が支給され、生活のささいな

奥さん自身の将来のためぜひ任意加入をすすめますようおすすめします。

結核予防健康診断(レントゲン撮影)のお知らせ

みなさん、結核は間接撮影(レントゲン)でないとわからない病気で
す。結核検診は、病気を事前に発見するため実施するものです。次の日
程でおこないますから、必ず健康診断をうけてください。

地区名	月日	曜日	受診場所	受診時間
小曲	11月13日	月	小曲集会所	9時~10時
錦町 柏原町 幾島町	"	"	錦町集会所前	10時10分~11時10分
新宮町 未広町	"	"	保健所前	11時20分~12時10分
上平井町 中平 井町 平井町	"	"	三井生命五所 川原支部付近 新宮団地集會 所付近	午後1時~2時
新宮団地	"	"	老人ホーム前	午後2時10分~3時
下平井町	11月14日	火	和田新宅付近	9時~10時30分
さつき町	"	"	敷島分院前	10時35分~11時20分
敷島町	"	"	岩谷りんご店 付近	12時~午後1時
東雲町 ひな田町	"	"	村元酒店付近	午後1時10分~2時10分
大町 旭町	11月15日	水	毛内酒店横	9時~10時20分
布屋町 東町	"	"	農協会館前	9時30分~10時30分
弥生町	"	"	西北教育事務 所前	10時35分~11時20分
鎌谷町	"	"	蒔田商店前	12時~午後1時
元町	"	"		午後1時10分~2時10分
岩木町 本町 川端町 寺町	11月16日	木	市民文化会館前	9時~11時
新町 柳町 成田町	"	"	永福神社付近	11時5分~12時5分
平和町 日の出町	"	"	白衣神社前	12時45分~午後2時
田町 栄町	"	"	三上商店前	午後2時5分~3時10分
持子 沢 一野 坪	11月17日	金	対馬静賢宅前	9時30分~10時30分 12時~12時30分

出稼者の健康診断

一四五人指摘される

一月に二回目を計画

五所川原保健所、市出稼
対策室は「安全で明るい」
出かせぎをめざし、九月に
十二日間にわたって出かせ
ぎ者の健康診断を行ないま
したが市内で

四人とあわせると、指摘さ
れた人の七〇割と大半をし
めています。
四十歳以上を対象とした
血圧測定では、二十四人が

健康診断で
は、尿検査の
結果、たんば
くと糖のいず
れか一方が検
出され「要注
意」と指摘さ
れた人が九十
七人もあり、
治療の必要な



「血圧測定」をうける出かせぎ者たち

高血圧か低血圧で治療が必
要で、ほかに十六人が「要
注意」(治療と注意をあわ
せ全体の二八割)と指摘さ
れましたが、なかには最高
血圧が二〇〇(ミリ)と危
険な状態の人もありまし
た。

ほかにレントゲン(間接
)検査で四人が精密検査の
必要を指摘されています。
今回検診をうけたのは、

「児童手当制度」を

知っていますか

うちひとり以上が昭和四十
二年一月二日以後に生まれ
た児童であること

▽その人の前年の収入が
一定の額に満たないこと(扶
養親族など五人の場合、お
よそ二〇〇万円を超えない
所得であること)

児童手当を支給制度が
ことし一月一日から実施さ
れていますが、お宅では手
続きをお済みですか。左記
に該当する方で、まだ手続
きをしてない方は、速やか
に市福祉事務所へお届けく
ださい。また、届出の際は
必ず印鑑、健保、国保など
の被保険者証をご持参願
います。
児童手当を受けることが
できる人は
▽十八歳未満の児童を三
人以上養育しており、その

児童手当の額は
児童手当の月額が三人以
上の児童のうち、出生順に
数えて三人目以降であっ
て、昭和四十二年一月二日
以後に生まれた児童ひとり
につき三、〇〇〇円です。

市内も3分ごと7円に

新通話料金制度

11月12日からスタート

電々公社では生活圏、経済圏の広がりによって新しい通話料金制度として現在の市内通話、市外通話の区別を廃止して新たに三分ごとに七円でかけられる広い区域を設定し、十一月十二日午前零時から実施します。

通話の種類を「区域内通話」「隣接区域内通話」「区域外通話」の三種類に改めますが、改正のおもな内容は次のとおりです。

▽現在の市内通話と市外通話の区別を廃止し、これまでの市内通話も三分ごとに七円の時分制になります。

たばこは市内の販売店から

昭和四十七年度の「たばこ消費税」として、約七千万円が市の歳入となって教育、土木、社会福祉などの施設に役立っています。

たばこをお買い求めのさいは、出かせぎ者の皆さんにご協力をお願いします。市内の販売店へご注文ください。出かせぎ先へ郵送します。

す。

▽最低の料金(三分ごとに七円)で通話のできる区域を大きく広げ五所川原、鶴田、金木、中里、木造、梅沢、小泊などの各局をひとつのグループとし、そのグループ内相互のダイヤル通話は三分ごとに七円となります。この通話を「区域内通話」といいます。

48年度の訓練生を募集

五所川原総合高等職業訓練校は、昭和四十八年度の訓練生を次の要領で募集します。

▽訓練科目、募集定員
機械科(機械専攻)二十五人、機械科(仕上専攻)二十人、電子機器科二十五人、配管科二十五人、板金科二十五人、溶接科二十五人

▽入校資格
義務教育卒業以上の学力があり、身体に欠陥がなく

▽隣りのグループ(青森蟹田、弘前、鯉ヶ沢)へのダイヤル通話は八〇秒ごとに七円とし、これまでより三割ほど長くお話しができるようになります。(これは六〇秒ごとに七円)この通話を「隣接区域内通話」といいます。
▽このほかのグループへの通話(中遠距離通話)の料金は現行どおりです。
この通話を「区域外通話」といいます。
なお詳しくは五所川原電報電話局、営業課電話④二〇〇一番へお問い合わせください。

入校選考に合格した者

▽入校手続

次の書類をそえて、当校または最寄りの公共職業安定所に提出してください。
用紙は本校または、出身校および公共職業安定所にあります。

入校願、身上書(写真ライカ判二枚、三カ月以内に撮ったものを添付してください)身体検査書(保健所または公立病院でうけたもの)学業成績証明書(新規

学校卒業で学校長発行のもの)
用紙の郵送を希望する場合は、自分のあて先を書いた封筒に二十円切手をはって申し込んでください。
▽願書の受付、締切
昭和四十七年十一月六日(月)～同年十二月四日(月)
▽選考日、選考方法
昭和四十七年十二月十六日(土) 国語、数学、理科の学力について簡単な筆記試験(六〇分程度)と面接試験を行います。
▽合格発表
昭和四十七年十二月二十三日(土) 本人、学校、公共職業安定所に通知するほか新聞紙上に発表します。
▽入校日
昭和四十八年四月上旬
なお科目別の訓練内容など詳しくは、五所川原総合高等職業訓練校、電話〇一七三三(市外) 〇二〇二四番、 〇二〇二五番にお問いあわせください。

市の執務時間が変わります

市の執務時間が十一月一日から三月三十一日まで、つぎのとおりになります。
平日、午前八時三十分から午後四時十五分まで、休憩時間は午後零時から午後零時四十五分まで、土曜日は午前八時三十分から午後零時十五分までとなります。

野草の花だより

五月から十月までの花の期間、津軽フラワーセンターの野草をたずね歩いてみました。

月に二回ぐ
らのわりで
道路をひとま

津軽フラワーセンター

(一年のまとめ)

わりし、目に触れた野草をメモしてきましたが、二百五十種ばかり記録することができました。道路をまわるだけでなく、雑木林の

ます。

これまで、青森県では同一個所から見つかったことのなかったナズナ、グンパイナズナ、マメグンパイナ

ズナの三種類が見つかったこと。めったに生育現場にお目にかかることができないといわれている、マンネンタネの群落が道路のすぐわきにあること。
野草の貴族といわれるラ

ン科植物が数種姿を見せて

いたこと

めのもものとしては、全国的に例がすくない「施設」です。大事にしたいもの